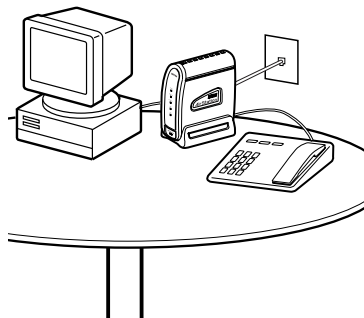
3

AirStation を設置します

AirStation の設置場所と、各機器の接続方法を説明します。

市販の単 3 アルカリ乾電池を 6 本用意しておいてください。

作業が終了したら、同梱されている「らくらく！セットアップシート」にチェックを付けてください。

乾電池を入れます

停電のときのために、市販の乾電池を AirStation に入れておいてください。

単 3 アルカリ乾電池を 6 本使用します。
AirStation に乾電池を入れておくと、バックアップ機能により、停電のときでも TEL ポートに接続した電話機などが使えます。

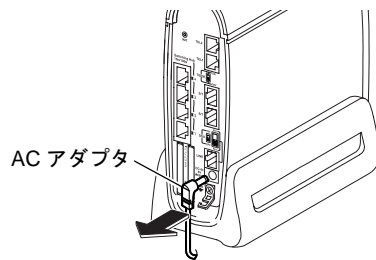
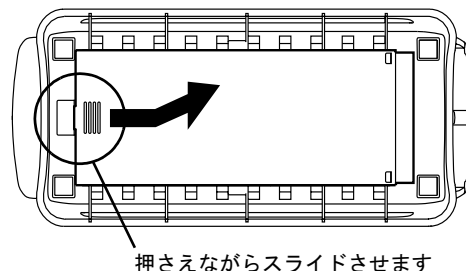
⚠ 停電のときに使えるのは、電話と FAX のみです。インターネットへの接続や、無線 LAN / 有線 LAN の使用はできませんので、ご注意ください。

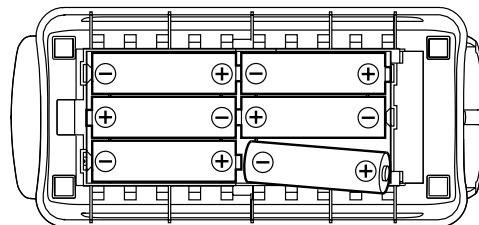
- 停電のときは、自動的にバックアップ機能が作動します。
- バックアップ時間の目安は以下の通りです。ただし、ご使用の環境によってバックアップ時間が異なります。
  以下は、新品のアルカリ乾電池を入れて、電話か FAX を 1 台接続した場合です。
  通話：約 2 時間
  待ち受け：約 3 時間
- 停電中は、内線通話や内線転送もできます。電話の使い方については、AirStation に付属の CD-ROM に収録されているオンラインガイドをご覧ください。
- 停電が発生しなかった場合も、1 年に 1 回程度、乾電池を新しいものに交換することをお勧めします。
- 交換する電池は、6 本とも同じ種類の新しいものをお使いください。

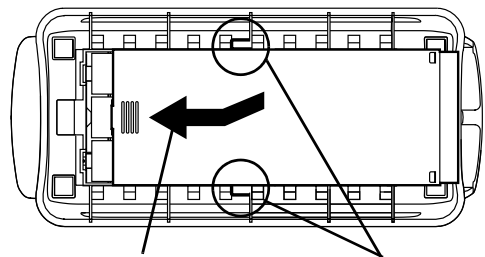
乾電池は以下の手順で入れてください。

1. **単 3 アルカリ乾電池を 6 本ご用意ください。**

   乾電池は同梱されていません。別途ご用意ください。

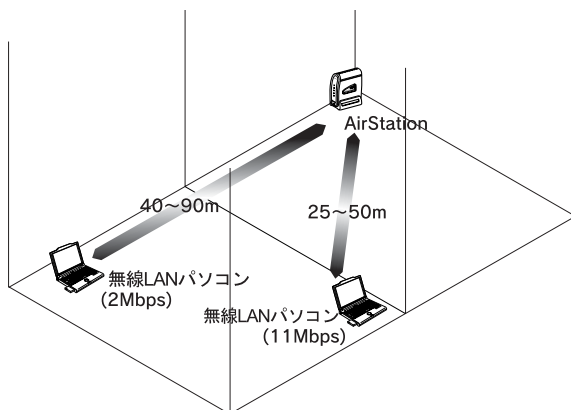
2. **AirStation に AC アダプタが接続されている場合は、AC アダプタを抜きます。**

3. **AirStation 底面の乾電池ケースを開けます。**

4. **乾電池を入れます。**

   プラス (+)、マイナス (-) の向きに注意して、正しくセットします。

5. 乾電池ケースを閉めます。

両脇のツメに引っ掛けて、ふたをスライドさせて閉めます。

AirStation を設置します

AirStation を設置します。以下をご覧になり、お使いの環境に合った場所に設置してください。

通信距離と設置場所について

最長で屋内 115m･屋外 550m(見通し) まで通信できます。
通常の通信距離は、以下の図の通りです。
通信距離は環境により影響されます。

	11Mbps 通信時	2Mbps 通信時
障害物の少ない屋内	50m（見通し）	90m（見通し）
障害物の多い屋内	25m（見通し）	40m（見通し）
屋外	160m（見通し）	400m（見通し）

- スチール机やスチール棚など金属製の物の近くや、電子レンジ、無線プリンタバッファの近くへは置かないでください。
  これらのものは電波の障害になります。
- 遮断物の材質によっては、通信距離が短くなったり遅くなったりすることがあります。
  また、通信ができなくなることもあります。

- はじめて AirStation を設定する場合、設定に使うパソコンは、AirStation の近くに置いてください。設定後は、設置場所を移動できます。
- AirStation を移動する場合、AirStation の電源をオフにしても、設定内容は保持されます。

外部アンテナの設置

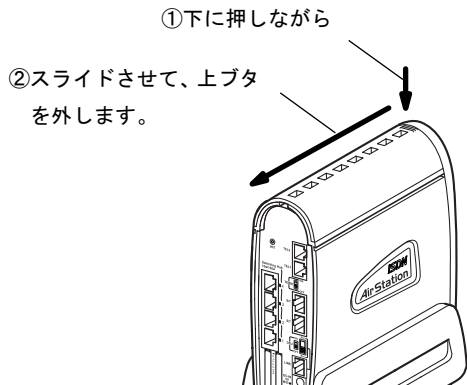
AirStation を設置して通信したときに、電波が届きにくい場合は、弊社製外部アンテナ、WLE-DA/NDR（別売）等を取り付けてください。

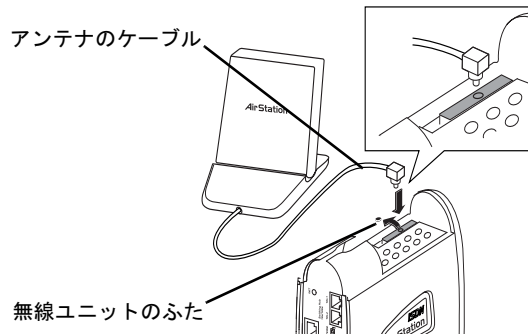
外部アンテナは、AirStation の上ブタを取り外して取り付けます。以下の手順をご覧ください。

1. 上ブタを外します。

上ブタの前面を下に押しながら、背面方向にスライドさせると外れます。

①下に押しながら

②スライドさせて、上ブタを外します。

2. 外部アンテナを取り付けます。

AirStation 内部にある、無線ユニットのふたを外して、アンテナのケーブルを接続します。

詳しくは、弊社製外部アンテナのマニュアルをご覧ください。

AirStation と各機器を接続します

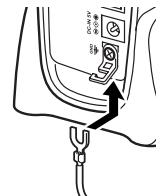
AirStation と各機器を接続します。
記載順に、各機器を接続してください。

 ISDN 機器を接続しない場合、AirStation の TERM スイッチは ON のままにしておいてください。

 雷対策のおすすめ

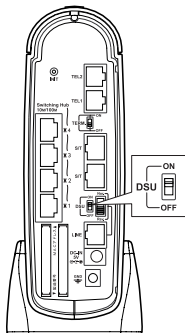
雷が発生すると、電線や電話回線などに、雷サージ電流と呼ばれる高電圧の大電流が流れることがあります。電線や電話回線を通じて、AirStation やパソコンに雷サージ電流が流れると、故障の原因となります。
雷が発生したときは、AirStation およびパソコンに接続しているケーブル類をすべて取り外してください。ただし、すぐ近くで雷が発生している場合は、感電の恐れがありますので、絶対に AirStation やケーブル類に触れないでください。

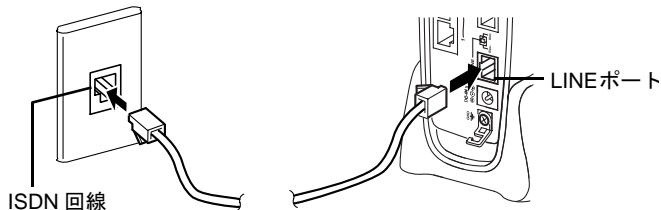
アース線

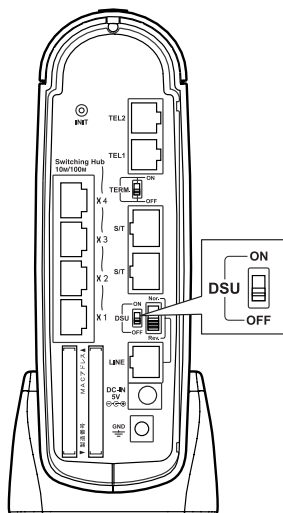
市販のアース線を、AirStation のアース端子に取り付けます。

ISDN 回線ケーブル

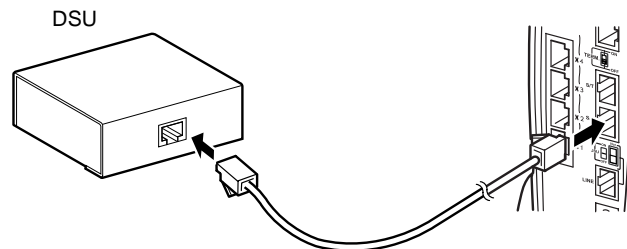
⚠ AirStation で使用できるのは、ISDN 回線（INS ネット 64 回線）のみです。OCN エコノミーや専用線では使用できません。

＜ISDN回線へ直接AirStationを接続する場合＞

1. **DSU スイッチを「ON」に設定します。**

2. **AirStation に付属の ISDN 回線ケーブルを、AirStation の LINE ポートに接続します。**

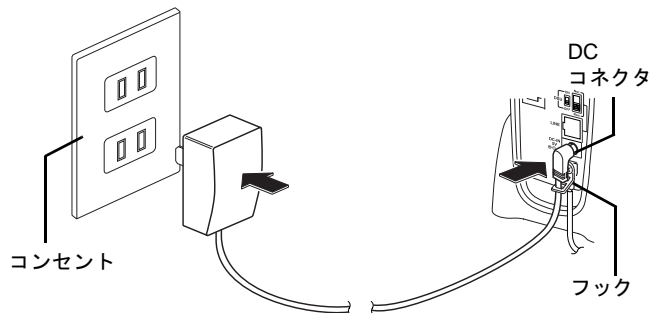
必ず、AirStation に付属の ISDN 回線ケーブルをお使いください。
ISDN 回線ケーブルのもう一方は、ISDN 回線に接続します。

＜既にお使いの DSU へ AirStation を接続する場合＞

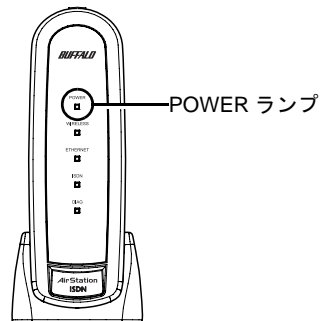
1．**DSU スイッチを「OFF」に設定します。**

2．**別売りの S/T ケーブルを AirStation の S/T ポートに接続します。**

S/T ケーブルのもう一方は、お使いの DSU の S/T ポートに接続します。

AC アダプタ

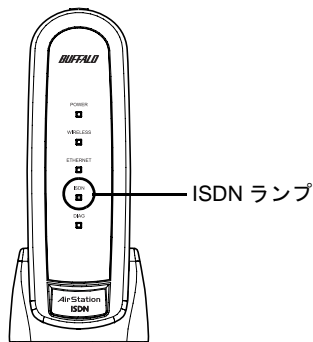
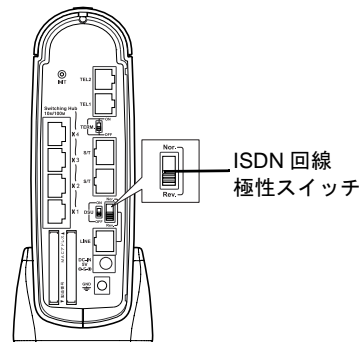
> ⚠ 必ず、AirStation に同梱されている AC アダプタをお使いください。

1. AirStation に付属の AC アダプタを、AirStation の DC コネクタに差し込みます。

AC アダプタのコードは、フックに掛けてください。
AC アダプタのもう一方は、コンセントに差し込みます。

2. AirStation のランプを見て、AC アダプタが正しく接続されていることを確認します。

POWER ランプが緑色で点灯していることを確認します。
DIAG ランプが消灯していることを確認します。
ISDN ランプは、赤色に点滅していても問題ありません。ISDN 回線ケーブルを AirStation の LINE ポートに接続すると、消灯します。

ISDN ランプの確認

1. **AirStation の ISDN ランプを見て、ISDN 回線との接続を確認します。**

   消灯している場合、正常に接続されています。
   赤色で点滅している場合、接続に誤りがあります。赤色で点滅している場合のみ、手順 2 へ進みます。

2. **ISDN ランプが赤色で点滅している場合は、ISDN 回線極性スイッチを切り替えてみてください。**

電話機、FAX

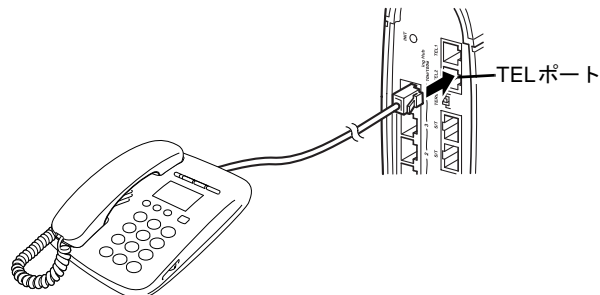
AirStation と電話機および FAX を接続する場合にお読みください。

電話機、FAX の接続

 以下の機器が接続できます。

- アナログ回線に接続するプッシュ式（トーン式）電話機（ダイヤル式電話機は接続できません）
- FAX（G3）
- モデム

以下の機器は動作保証外です。
ホームテレホン／キーテレホン／家庭用キーテレホン／ビジネスホン／ボタン電話

電話機および FAX を、TEL1 ポートまたは TEL2 ポートに接続します。

電話機の接続確認

電話機を接続した場合は、実際に電話をかけてみて、電話機が使用できることを確認します。
時報ダイヤルを例に、説明します。

1. **TEL ポートに接続した電話機の受話器を上げます。**

   受話器から「ツー」という音がすることを確認します。

2. **プッシュボタンで［1］［1］［7］と押します。**

   プッシュボタンを押すときに、「ピポパ」という音がすることを確認します。

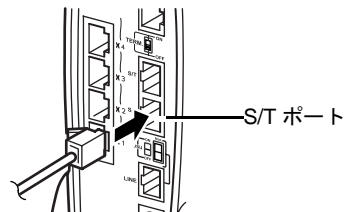
時報のアナウンスが聞こえたら、確認は終了です。

電話がつながらない場合は以下のページをご覧ください。
「TEL ポートに接続した電話機で電話がつながらない」210 ページ

その他の ISDN 機器

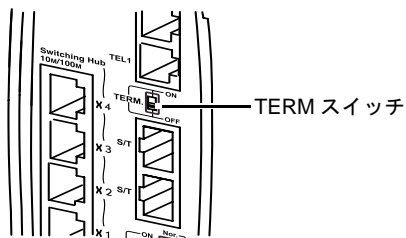
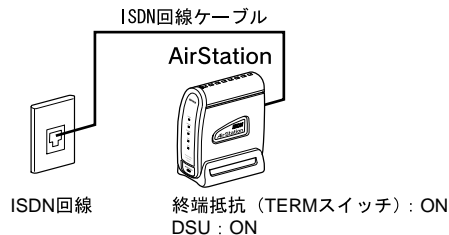
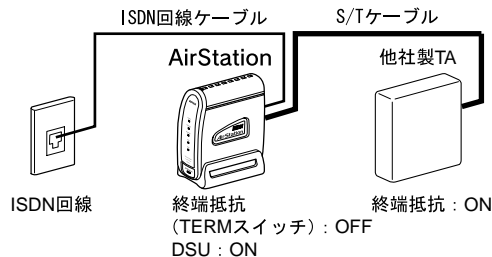
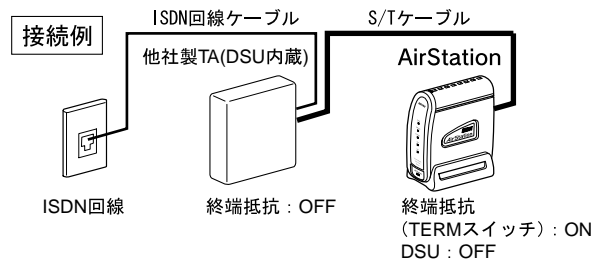
AirStation と、電話機や FAX 以外の ISDN 機器を接続する場合にのみ、お読みください。

1. **電話や FAX 以外の ISDN 機器は、S/T ポートに接続します。**

- ISDN 機器を接続するケーブルの長さは、合計 100m まで使用できます。
- ISDN 機器は、カスケード接続で合計 7 台まで接続できます。

2. TERM スイッチを設定します。

- 終端抵抗のない ISDN 機器を 1 台接続した場合（ケーブルの長さ 10m 以内) は、ON にします。

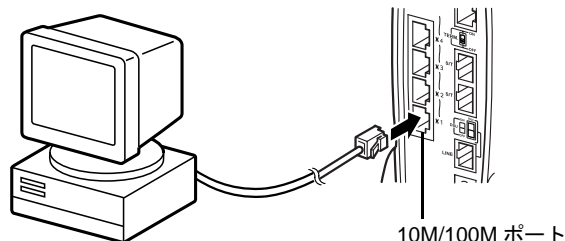
- 終端抵抗のある ISDN 機器を 2 台〜 7 台接続した場合は、OFF にします。
  このとき、AirStation から一番離れたところにある（一番長いケーブルを使っている）ISDN 機器の終端抵抗を ON に設定します。

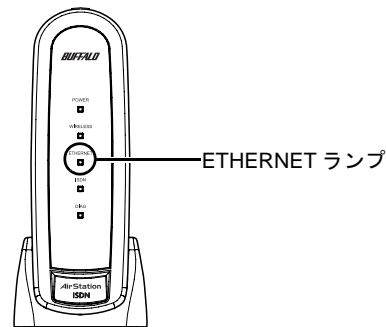
＜接続例＞

パソコン（ケーブル接続）

AirStation とパソコンをケーブルで接続する場合にのみ、お読みください。
パソコンとの接続に使うケーブルには、以下の制限があります。

100BASE-TX	カテゴリ*a 5 対応のストレートケーブル 最長 100m まで
10BASE-T	カテゴリ 3 以上対応のストレートケーブル 最長 100m まで

*a. ケーブルの品質を表す。カテゴリ 3 よりもカテゴリ 5 の方が高速で伝送できる。

1. パソコンのLANボードに接続したLANケーブルのもう一方を、AirStation の 10M/100M ポートに接続します。

2. AirStation の ETHERNET ランプを見て、パソコンとの接続を確認します。

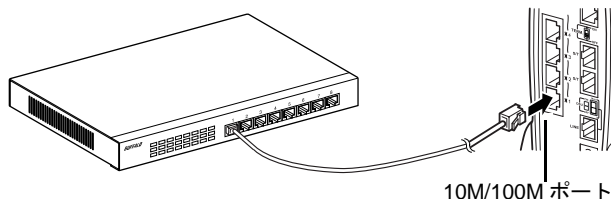
緑色で点灯している場合、正常に接続されています。

ハブ（ケーブル接続）

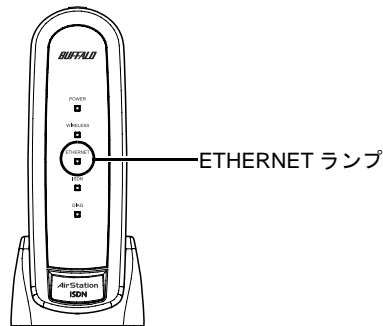
AirStation とハブ[*1] をケーブルで接続する場合にお読みください。

 接続には、いくつかの制限があります。接続の前に、以下のページをご覧ください。

「接続時の注意」65 ページ
「使用できるケーブル」66 ページ

ケーブルの接続

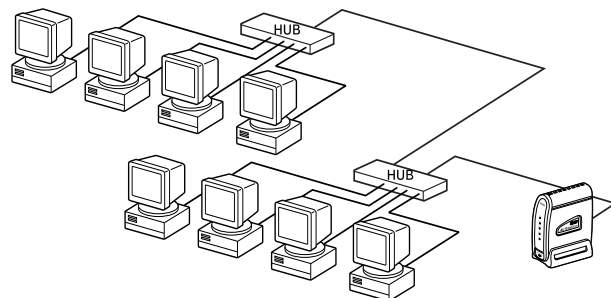
1. **ハブに接続した LAN ケーブルのもう一方を、AirStation の 10M/100M ポートに接続します。**

*1. 集線装置ともいう。ハブを中心にして複数の機器を接続し、ネットワークを構築する。

2. **AirStation の ETHERNET ランプを見て、ハブとの接続を確認します。**

緑色で点灯している場合、正常に接続されています。

接続時の注意

AirStation は、10M/100M に対応した 4 ポートスイッチングハブを内蔵しているため、無線 LAN と有線 LAN でインターネットの共用やファイルの共有などをすることができます。
なお、AirStation にはカスケードポートはありません。

- ケーブル接続のパソコンが 4 台以内の場合は、パソコンを AirStation の 10M/100M ポートに直接接続します。
- ケーブル接続のパソコンが 5 台以上の場合は、市販のハブを AirStation に接続して、パソコンをハブに接続します。

カスケード接続の例

- AirStation にリピータハブ*1 やデュアルスピードハブ*2 を接続する場合は、規格上、次の表のような制限があります。
  これらの制限を超えて接続すると、ネットワークが正しくつながらないことがあります。

	100BASE-TX	10BASE-T
カスケード接続*a の段数	2 段まで	4 段まで
カスケード接続時のケーブルの総延長距離	205m 以内	500m 以内

*a.ハブ同士をケーブルで接続すること。

- スイッチングハブ*3 を使うと、上記の制限を超えたハブの追加や距離の延長ができます。
  たとえば、10BASE-T のリピータハブで 4 段のカスケード接続をしている場合、スイッチングハブを使うと、リピータハブをさらに 4 段カスケードできます。

*1. 一般的なタイプのハブ。
*2. 2 種類の転送速度（10Mbps と 100Mbps など）に対応したハブ。
*3. スイッチング機能が追加されたハブ。通信に必要なポート同士が 1 対 1 でデータのやり取りを行うため、ネットワークが効率よく使用できる。

使用できるケーブル

ハブとの接続に使うケーブルには、以下の制限があります。

100BASE-TX	カテゴリ*a 5 対応のクロスケーブル 最長 100m まで
10BASE-T	カテゴリ 3 以上対応のクロスケーブル 最長 100m まで

*a. ケーブルの品質を表す。カテゴリ 3 よりもカテゴリ 5 の方が高速で伝送できる。

ハブ側でカスケードポートに接続する場合は、ストレートケーブルが使えます。
カスケードポートの有無は、お使いのハブのマニュアルで確認してください。
（AirStation にはカスケードポートはありません。）

電話機を設定します

AirStation の TEL ポートに電話機を接続した場合は、電話機の各機能を使えるように設定します。
ここでは、以下の機能の設定方法を説明します。

- ダイヤルインサービス
- i・ナンバーサービス
- 発信電話番号表示サービス（INS ナンバー・ディスプレイ）
- 発信者番号通知サービス

ダイヤルインサービス

TEL1 ポートと TEL2 ポートに 2 台の電話機を接続すると、1 台には契約者回線番号を、もう 1 台にはダイヤルイン番号を設定できます。

この機能を使うためには、NTT のダイヤルインサービスから、［グローバル着信］の契約をしておくことが必要です。

TEL1 ポートの電話機に契約者回線番号を、TEL2 ポートの電話機にダイヤルイン番号を設定する場合を例に、説明します。

手順	ダイヤル操作	受話器からの音
1	TEL1 または TEL2 ポートの電話機の受話器をあげます。	ツー
2	＊ ＊ 1 2 8	プッ、プッ、プッ、プー
3	0 0 ＊ 1 0 ＊ ＊	プッ、プッ、プッ
4	受話器を置きます。	-
5	TEL1 ポートの電話機の受話器をあげます。（TEL1 ポートの設定開始）	ツー
6	＊ ＊ 1 2 8	プッ、プッ、プッ、プー
7	1 0 ＊ 契約者回線番号をダイヤル ＊ ＊	プッ、プッ、プッ
8	# ＊ #	プッ、プッ、プッ

手順	ダイヤル操作	受話器からの音
9	受話器を置きます。 （TEL1 ポートの設定終了）	-
10	TEL2 ポートの電話機の受話器をあげます。 （TEL2 ポートの設定開始）	ツー
11	＊ ＊ 1 2 8	プッ、プッ、プッ、プー
12	1 0 ＊ ダイヤルイン番号をダイヤル ＊ ＊	プッ、プッ、プッ
13	# ＊ #	プッ、プッ、プッ
14	受話器を置きます。 （TEL2 ポートの設定終了）	-

i・ナンバーサービス

TEL1 ポートと TEL2 ポートに接続した 2 台の電話機を、別々の電話番号で呼び分けます。

この機能を使うためには、NTT の INS ネット 64 で、i・ナンバーサービスを契約しておくことが必要です。

以下の場合を例に説明します。
契約者回線番号または i・ナンバー 2 にかかってきたとき TEL1 ポートの電話機が、i・ナンバー1 にかかってきたとき TEL2 ポートの電話機が鳴るように設定する。

手順	ダイヤル操作	ダイヤル操作後の受話器からの音
1	TEL1 または TEL2 ポートの電話機の受話器をあげます。	ツー
2	＊ ＊ 1 2 8	プッ、プッ、プッ、プー
3	3 3 ＊ 1 ＊ ＊	プッ、プッ、プッ

手順	ダイヤル操作	ダイヤル操作後の受話器からの音
4	③ ④ ⊛ ① ⊛ ⊛ 契約者回線番号で TEL2 ポートを呼びたいときは ③ ④ ⊛ ② ⊛ ⊛	プッ、プッ、プー
5	③ ⑤ ⊛ ② ⊛ ⊛ i・ナンバー 1 で TEL1 ポートを呼びたいときは ③ ⑤ ⊛ ① ⊛ ⊛	プッ、プッ、プー
6	③ ⑥ ⊛ ① ⊛ ⊛ i・ナンバー 2 で TEL2 ポートを呼びたいときは ③ ⑥ ⊛ ② ⊛ ⊛	プッ、プッ、プー
7	# ⊛ #	プッ、プッ、プッ
8	受話器を置きます。	-
9	TEL1 ポートの電話機の受話器をあげます。 （TEL1 ポートの設定開始）	ツー
10	⊛ ⊛ ① ② ⑧	プッ、プッ、プッ、プー
11	③ ⑦ ⊛ ① ⊛ 契約者回線番号をダイヤル ⊛ ⊛	プッ、プッ、プッ
12	受話器を置きます。 （TEL1 ポートの設定終了）	-
13	TEL2 ポートの電話機の受話器をあげます。 （TEL2 ポートの設定開始）	ツー
14	⊛ ⊛ ① ② ⑧	プッ、プッ、プッ、プー
15	③ ⑦ ⊛ ② ⊛ i・ナンバー 1 をダイヤル ⊛ ⊛	プッ、プッ、プッ
16	受話器を置きます。 （TEL2 ポートの設定終了）	-
17	TEL1 ポートの電話機の受話器をあげます。 （TEL1 ポートの設定開始）	ツー
18	⊛ ⊛ ① ② ⑧	プッ、プッ、プッ、プー
19	③ ⑦ ⊛ ③ ⊛ i・ナンバー 2 をダイヤル	プッ、プッ、プッ

手順	ダイヤル操作	ダイヤル操作後の受話器からの音
20	受話器を置きます。 （TEL1 ポートの設定終了）	-

発信電話番号表示サービス（INS ナンバー・ディスプレイ）

ナンバー・ディスプレイ対応の電話機や FAX をお使いの場合、相手の電話番号や、番号表示ができない理由を表示させることができます。

- この機能を使うためには、NTT の INS ネット 64 で、ナンバーディスプレイサービスを契約しておくことが必要です。
- 以下のような電話がかかってきた場合、相手の電話番号は表示されません。

  公衆電話からかけた相手からの電話
  電話番号の最初に「184」を付けてダイヤルした相手からの電話
  常時通知拒否契約の回線からの電話

手順	ダイヤル操作	ダイヤル操作後の受話器からの音
1	TEL1 または TEL2 ポートの電話機の受話器をあげます。	ツー
2	* * 1 2 8	プッ、プッ、プッ、プー
3	1 7 * 1 * *	プッ、プッ、プッ
4	# * #	プッ、プッ、プッ
5	受話器を置きます。 （設定終了）	-

発信者番号通知サービス

電話をかけるときに、自分の電話番号を相手に通知するかしないかを設定できます。

- 「通常非通知（回線ごと非通知）」を契約している場合は、以下の操作で「通知をする」設定をしても通知されません。
- この機能を使うためには、NTT の INS ネット 64 で、発信者番号通知サービスの契約をしておくことが必要です。
  ただし、電話をかけるとき、電話番号の前に「184」または「186」を付ければ、契約・設定は不要です。
- 発信者番号通知の優先順位は、以下の通りです。
  高：「184」、「186」を電話番号の先頭に付ける
  低：AirStation の設定（「通知する」/「通知しない」）

手順	ダイヤル操作	ダイヤル操作後の受話器からの音
1	発信者番号通知を設定する電話機の受話器をあげます。	ツー
2	＊ ＊ 1 2 8	プッ、プッ、プッ、プー
3	発信者番号通知をしない場合 1 2 ＊ 0 ＊ ＊	プッ、プッ、プッ
	発信者番号通知をする場合 1 2 ＊ 1 ＊ ＊	
4	1 0 ＊ （登録する番号）をダイヤル ＊ ＊	プッ、プッ、プッ
5	# ＊ #	プッ、プッ、プッ
6	受話器を置きます。 (設定終了)	-